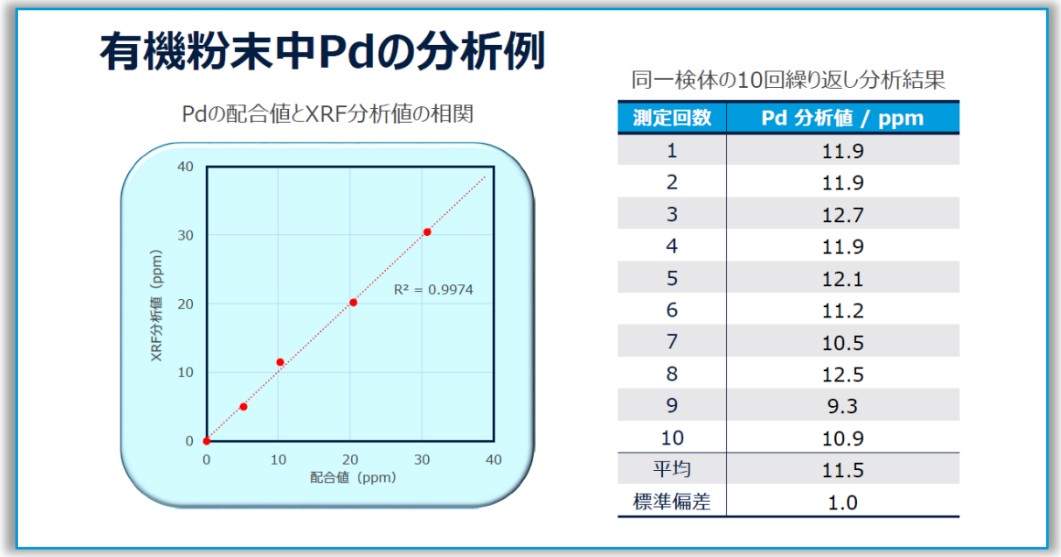
リガク製薬セミナー【製剤開発・ 蛍光X線分析】

『触媒残渣の迅速分析』

有機合成においてパラジウム（Pd）等、遷移金属触媒によるクロスカップリング反応技術が発展し、より高機能な医薬品が開発されるようになりました。それと同時に完成品における触媒の残渣量を管理する必要があります。蛍光X線分析（XRF)は迅速かつ非破壊で残留する微量のPd等の元素分析が可能な手法です。

講　　師：日下部　寧
所　　属：(株)リガク　EDX・携帯機器事業部　SBU EDX

時　　間：17:55~18:25
セッション：No.12



© 2022 RIGAKU CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED